

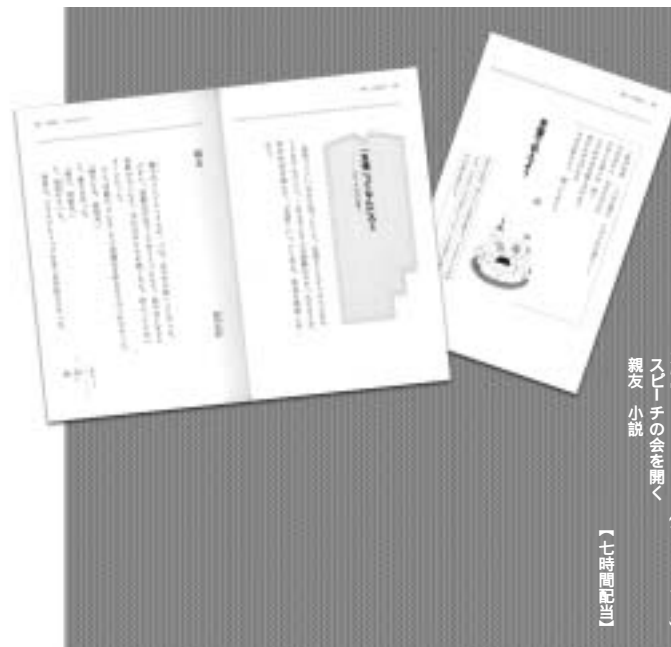
特別な性格をもつ単元のねらいを生かして

発表するっておもしろい

— 無理のない環境と題材で発表の体験を積み、
充実感を味わわせる学習 —

教科書 一年第一單元
新しい出会い
言葉で伝えよう (話・聞・書二)
「友情」ってなんだろう (話・聞・読五)
スピーチの会を開く
親友 小説

【七時間配当】



— 基本的な考え方

● 学習のとらえ方

「新しい出会い」は、中学校に入学して最初に学習する導入單元である。単元の前半「言葉で伝えよう」では、写真を見て感じたことなどを声に出したり文字にしたりする。単元の後半「友情」ってなんだろう」では、『親友』という小説を読んでスピーチの会を開くという構成になっている。

今回は、無理のない環境と題材で発表の体験を積み、充実感を味わわせることに主眼を置いた学習を計画した（配当時間は七時間）。

一年生は、おおむね発言が活発であるが、学年が進むにつれて次第に発言の量が減ってきてしまつのは残念なことである。「元氣な意見交換」は、活氣ある国語教室の重要な要素でもあり、意見交換を通して自分の考えが深まっていくことが楽しいと感じる手だてを講じたいと考えた。

クイズのような一問一答の発言ではなく、今後の学習の中で自分の意見を堂々と表明できる下地をつくりたい。自分の意見を表明し、ほかの人の意見を聞くことで考えを深める。中学校最初の単元を、そのような機会としたい。そのためには、無理のない環境と題材で発表の

体験を積み、充実感を味わわせることが大切であると考ええる。

そこで、教科書に載っている「写真」についての自由なイメージの発表を小グループ内で行うことを第一段階とし、第二段階として、クラス全体に向けて自分の考えをスピーチするという学習の進め方を考えた。「写真」に対するイメージには正しい答えが存在するわけではないので、生徒一人一人の自由な感性が飛び出すものと期待できる。

教科書で発展的学習活動として取り上げている「詩や文章の中で好きな言葉を伝える」という学習活動は、この提案では割愛している。「写真」と「好きな言葉」を置き換えて指導を展開することも考えられる。

● この学習で身につけたい力

自分の考え方や気持ちを相手に理解してもらえようように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。

自分の考えや気持ちを的確に話するためにふさわしい話題を選び出すこと。

楽しんで発表すること。

二 観点別評価の進め方

●「おおむね満足できる」状況と判断するための視点（生徒にわかるめあて）

内容

話の内容が前に戻らないこと。

指示語や代名詞はできるだけ使わないこと。

一文が四十文字以上にならないこと。

発表の仕方

教室の最後列の人に、無理なく声が届くこと。

聞きやすい速さで話すこと。

●「努力を要する」状況にある学習者への対応（支援を含んだもの）

最後列の人に向かって話しかけるように発表するよう助言する。

スピーチ原稿を添削する。

事前に練習する時間をとるよう助言する。

三 指導と評価の計画例（七時間）

第二次 (第三時～七時)	第一次 (第一時・二時)
スピーチの会を開く テーマ…「友情」ってなんだろう 小説『親友』を読み、ノートに感想や意見を書く 『親友』を読んだ感想や意見と自分の体験などを踏まえてスピーチ原稿を書く 『「友情」ってなんだろう』をテーマに、スピーチの会を開く 「辞典を活用しよう」	スピーチに慣れる 教科書にある写真（表紙裏やほかの単元のものも含む）の二つを選んで、「写真を動かそう!!」を目標にグループ内でスピーチをする。 ・どんな音が聞こえるか。 ・この直前はどんな様子だったか。 ・この後どう展開していくかと思うか。 などについて発表する。 グループ代表を決めて全体で発表する。 * 評価 形成的評価… 声の大きさ、目線、資料の持ち方などを評価し、次につなげる。

四 この学習のポイントとなるところ

学習課題をスモールステップにして、段階的に目標に到達できるように工夫したことがポイントである。
最初からクラス全員の中で発言させず、グループの中

で発言させ、グループ代表の発言のしかたをみんなで考えさせることにより、課題に対しての心理的な抵抗感を減らすように工夫した。

発表を得意としていてどんどん発言できるような生徒もいれば、発表を不得意と感じていて、できれば発言したくないと思っている生徒もいるであろう。中学校に入學して最初の単元となるこの学習では、新しい仲間の中で、今後の学習で発表することに対して、できるだけ抵抗感を減らし、自分の意見を表明することが、「気持ちいい」と感じられる時間としたい。ペースがゆつくりな生徒や、興味や関心がユニークな生徒も巻き込んで、「発表するって面白い」と感じる体験をさせたいと思う。人間関係が希薄であるこの時期にグループ学習という形態をとることについては、さまざまな意見があると予想される。お互いのことをよく知らなかったために偏見が生じたり、トラブルに発展したりする危険性もあるだろう。しかし、人間関係が固定化してしまつ前に、新しい人間関係を築きたいと感じている生徒も少なくないはずである。指導者には、人間関係についての配慮も求められる。グループのつくり方もいろいろあるだろう。今回は、新しいスタートをきるという趣旨から、あえて座席順にグループづくりを行った。

**発表するって面白い！
学習記録シート**

この単元では、こんな力を身につけたい！

1. 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話相手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。
2. 自分の考えや気持ちを的確に話すためにふさわしい話題を選び出すこと。
3. 発表を楽しむこと。

グループ内スピーチ「写真を動かそう!!」 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

グループ代表の発表 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

「親友」の感想・意見を書く。 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

「友情」ってなんだろう」スピーチ原稿づくり 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

スピーチの会 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

辞典を活用しよう 学習日 月 日

◆単元で身につけたい力の自己評価→ A B C

○一行コメント

《学習記録シートの例》